

名古屋城天守閣の木造復元と、 旧町名復活からみるまちづくり

【前編】

いま、名古屋城天守閣の木造復元が熱い議論を呼んでいます。

それに伴い、旧町名復活を目指した取り組みも活発化。名古屋出身の作家 井沢元彦さんを囲み、名古屋城と旧町名からみる、魅力ある街・名古屋について語り合います。

司会／月刊なごや編集長 種村桂介



料亭『つたも』社長／
栄ミナミ地域活性化協議会会長

深田正雄さん



作家

井沢元彦さん



宝石・貴金属『居東屋』会長／
名古屋市中区政協力委員

伊藤 巧さん

名古屋城は慶長15年(1610)、徳川家康の命で築城。姫路城、大阪城に並ぶ三大名城として全国に名をとどろかせました。

しかし昭和20年5月の空襲で、天守閣は本丸御殿ともども焼失。昭和34年、総工費約6億円をかけ、鉄骨鉄筋コンクリート造で再建したのが今の天守閣です。

半世紀以上が経ち、次第に劣化が目立ち、耐震を含めた建て直しが考えられるなか、「どうせ天守閣を建て替えるのならば木造で」との声があがり、河村たかし名古屋市長も再建を市議会へ提案。

木造復元を目指す市民団体も結成され、気運が高まりつつあります。『前編』では、名古屋城のいまと、復元の先にある未来を語り合います。

近代化の証だった、 コンクリート製の名古屋城

「尾張名古屋は城でもつ」と唄われるぐらい、名古屋の繁栄は名古屋城とともにあり、市民に



▲消失前の天守閣。層塔型で5重5階、地下1階、高さは55.6m(天守台19.5m、建屋36.1m)と、18階建ての高層建築に相当する規模。

とつても心のよりどころ。思い出
も多いのでは？

深田 名古屋城と言えば、祖父と一緒に乗馬へ出かけたことを思い出します。

戦前は名古屋城内に第三師団の練兵場があつて、その馬場の東には厩舎があり、戦災後も焼け残っていたんです。

祖父はそこで馬を飼っていて、鞍に人参入れて、お城の外堀などで友人や孫と乗馬を楽しんでいました。

伊藤 僕も馬が好きでね、深田さんのお祖父様とはよくお話をさせていただきました。

僕は22、3才、深田さんは小学生でしたね。お祖母様がすごく可愛がつて大事にされてた。

深田 危ないからと自転車には

本物をもつよろこび
室石の邨 牧野

名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル2F
TEL 264-4807

京ごふく

恵 里 善

名古屋店 天白区八事石坂641
TEL 052-834-7721

京都本店 四条河原町
銀座店 銀座すずらん通

<http://www.erizen.co.jp/>

MISA HIRAMATSU
HAUTE COUTURE
平松美佐

中区栄4-15-23 the b' nagoya 1F
TEL (052) 264-0093

のついでに貰えなくて、そのかわり馬に乗ってた（笑）。

——戦前には「近世城郭御殿の最高傑作」と言われ、旧国宝にも指定されていた名古屋城が空襲によって消失したことは大変残念でした。

井沢 戦前は、本丸御殿も天守閣も当初のまま残っていて、それは素晴らしい城だったそうです。

明治時代に政府によって姫路城とともに壊されそうになりましたが、陸軍大佐の中村重遠が「芸術的にも築城学的にも、極めて価値の高い城だから残すべきだ」と必死に



井沢元彦さん
作家

1954年名古屋生まれ。早稲田大学法学部卒。TBS入社後、報道局放送記者時代に「猿丸幻視行」で第26回江戸川乱歩賞受賞（26歳）。31歳で退社、執筆活動に専念。以後、歴史推理、ノンフィクションに独自の世界を開拓。週刊ポストに連載中の「逆説の日本史」は1000回を突破。シリーズ最新刊『逆説の日本史21 幕末年代史編4 高杉晋作と維新回天の謎』までで累計500万部超のベストセラー。大正大学表現学部客員教授。日本ベシクラブ会員。中京独立戦略本部構成員。

訴え、保存が決まりました。

当時の日本人は文化財という発想が全くなく、旧幕時代の城を残しても意味がないんじゃないかという意見が多かった。それを中村重遠が頑張って残したんですけど、惜しくも大空襲で完全に灰燼に帰してしまった。

深田 米軍は名古屋城を爆撃するつもりはなかったそうです。城の北にあった軍事工場を攻撃した際に上がった煙が風で流れて、後から来たB29は煙だらけでどこに落としていいかわからなくて、たまたま落としたのが名古屋城であつた。

井沢 不幸中の幸いは、本丸御殿の調度、特に襖を避難させていたことと、完全な図面も写真も残っていたこと。

昭和34年に今の形に復元されましたが、当時はコンクリートによる天守閣再現ブームみたいなものがあった、全国いろんなところの城が復元されました。

二度と燃えさせないという不燃化を体现したコンクリートの構造も、内外に取り付けられたエレベーターも、当時としては近代化の象徴だったんですね。

美印章 五雲堂

彫刻者 長束有峰
労働大臣認定一級技能士
全国印章技術大競技会金賞
〔愛知の名工〕知事表彰

名古屋市昭和区東畑1・32
☎052・731・9662

<http://gyokuundo.sakura.ne.jp/>

手打ちそば

紗羅餐

本店 名古屋市南区星崎1丁目147-3
☎052・824・7037

中部国際空港店(4F) ミッドランドスクエア店(4F)
☎0569・38・1137 ☎052・527・8871
もとやま店 丸の内道場
☎052・782・8887 ☎052・962・7088

<http://sarrasin.jp/>

阪急阪神第一ホテルグループ

東京第一ホテル錦

〒460-0003 名古屋市中区錦3-18-21

Tel.052-955-1001

トウキョウダイイチ

<http://www.tdh-nishiki.co.jp>



伊藤 巧さん
いとくみ

宝石・貴金属「居東屋」会長

名古屋市中区政協力委員
1936年春日井市生まれ。中区栄1丁目（旧南園町）在住。中区の旧町名復活を目指し、活動中。日本の伝統文化を継承したいと本店4階に能舞台を設け、自らも能をたしなむ。

深田 この年は皇太子ご成婚もあり、城復元は、めでたいこととすぐ盛り上がりました。

井沢 でもこの時も反対意見が出ましたよね。「造っても意味がないし、そんなものに使うお金があつたら、住宅建設に回せ」と。それは考え違いだと思います。明日の暮らしにも困っていた終戦直後だったら話は別ですが、人間は「パンのみにて生きるにあらず」と聖書にあるとおり、人生はただ食って寝るだけではない。動物的な生活の他に文化的な生活があつて、そのために名古屋城を市民のシンボルとして再建したのは評価できることです。

本物の名古屋城にかける思い

人形作家の故夢童由里子さんが熱心に働きかけた本丸御殿の木造復元は、今年6月に対面所が完成し、一般公開が開始。再来年には全て竣工し公開が予定されています。

井沢 天守閣は34年に復元されたけれど、本丸御殿はずっとほっておかれた。城というのは本来御殿とセツトなんだという感覚がなかったんですね。

江戸城は四代將軍の時に天守閣が焼けちゃってそのまま再建しなかったし、犬山城の天守閣は国宝ですけれども、御殿は全く残っていない。

名古屋城の本丸御殿の木造再建を夢童さんが言い出された時は誰もできると思っていなかったと思うんですけれども、見事に成し遂げられて。本気で夢童さんの銅像を立てなければいけないと思っています（笑）。

深田 京都ご出身の方なのに名古屋のことを名古屋人よりも真剣に考えてくださる方でしたね。

僕もよく叱られました。「何を



フレンチレストラン「エスコフィエ」

名古屋観光ホテルが贈る おもてなしの心と 豊かな味わい

フレンチレストラン エスコフィエ

ESCOFFIER

ブラスリー&カフェ ル・シュッド

Le Sud

buffe&ラウンジ ジャルダン

Jardin

日本料理

吳竹

名古屋観光ホテル TEL.052-231-7711 (代) 名古屋市中区・伏見

<http://www.nagoyakankohotel.co.jp>

やっとなるの。ええ加減にしなあかんよ！」と、きつついんですわ、あの姉さん（笑）。

でもおかげで、名古屋のまちづくりの具体的な道しるべをいただけたと感謝しています。

井沢 いざ本丸御殿が木造できちんと復元されると、今度はコンクリートの城がなんともアンバランスですね。

木造復元は今の技術だとかなりいいものが出来ると聞いているので是非やるべきだと。

伊藤 私も40年以上前から木造にすべきだと考えてきました。

というのも、海外からお客様がいらつしやった時に名古屋城にお



おまさ だふか 深田正雄さん

料亭『つたも』社長

1948年名古屋市長生まれ。料亭『薦茂』の一人息子として栄で育つ。一橋大学卒業。米国でのホテル勤務やホテルオークラグループを経て、95年『薦茂』社長に就任。本業のかたわら地域活動にも尽力。07年より栄ミナミ地域活性化協議会会長。

連れすると「こんなの城じゃない。がっかりした」と言うんです。

彼らは事前に勉強して楽しみに名古屋にいらしてゐるのに城があればとても恥ずかしい。

ただ、急いで造る必要はなく、きちつと造つてくださればいい。遺産になるものだから年数がかかるのはしょうがないことです。

その代り誰が見ても恥ずかしくないものを造れば名古屋は観光地としても発展することは間違いないでしょう。

市民が誇りとする名古屋城へ

いま、議論となっているのが総工費500億円をどこから捻出するかということですが、皆さんはどうお考えですか。

井沢 こういう時必ず批判されるのが借金を後世に残すこと。

でも、僕は残してもいいと思うんです。現代の人間が贅沢して飲み食いするツケをまわしているのは違うわけで、むしろ何代にも渡って負担をして造っていくべきだと。

伊藤さんも言われた通り後世に残すまさに遺産となるわけですか



創業平成元年
大口屋

布袋本店・江南駅前店・一宮店
大口店・三越栄店（B1F）
三越星ヶ丘店（B1F）

☎ 0120-00-9781
（9～17時受付）

19

湯気昇る、味は
絶品 三越栄店
あんこさんま

楽

中区錦3丁目9-29
☎ 951-1125 定休日 日・祭日

手打ちそば処
谷屋

☎ 052-561-3663
西区幅下1-1-11 水・第2火休
11:30～14:00 17:00～21:00

<http://soba-taniya.com/>



▲本丸御殿は平成30年にすべての工事を終え、一般公開を予定。現在は玄関・表書院、対面所などを公開中（写真：玄関一之間北東面）。

ら、次の世代に負担を委ねていいと思うんです。むしろそうすることで地元民としても愛着がわくのではないのでしょうか。

深田 私が発起人のひとりである「名古屋城天守閣を木造で復元し、旧町名の復活を目指す会」では、ふるさと納税を活用して投資回収をする案を挙げています。

入場者の9割は市外です。市外の人々が、ふるさと納税ということで、1万円寄付したら、5千円がお城に入り、本人は名古屋市内で使える飲食券が3千円と入城チケットが1枚もらえるというものです。

あとはふるさと納税証明書を持って年末調整のときにそれを出せば税金が引かれる。

愛着をもってもらうために名古屋城グッズを差し上げるのもいいですね。例えば井沢さんの顔が映ったものとか（笑）。

井沢 それはダメでしょう（笑）。
深田 これは冗談として（笑）。お金を集める方も出す方も楽しくやっていけたらこれにこしたことはないと思うんです。

あとは寄付ですね。お金を出したい人はいっぱいます。僕も名古屋城を造るのに協力したと自分の名前が残ったら嬉しいもんね。ただこれは市民合意を取っておかなければいけない。市民の意思がないと、造るのは河村城じゃないんだから（笑）。

伊藤 市民ひとりひとりが、「あのお城を造るのに協力したんだよ」と、子供や孫、その先の代まで誇りを持って伝えられるようになることが理想です。

それでこそ、「尾張名古屋は城でもつ」という名古屋城の本来の姿ではないでしょうか。

愛知県にも世界遺産を

——「名古屋城天守閣を木造で復元し、旧町名の復活を目指す会」

うなぎ 和食



名古屋市西区城西4丁目20・12 ☎052-524-1415(浄心本店)
今池ガスビル店 栄ガスビル店 ジェイアール名古屋タカシマヤ店

しら河別郎

日本料理

大森

名古屋市中区三の丸1・11名古屋能楽堂 ☎052-218-2220
*5/15まで昼席のみ。夜席は5/16より(3日前までにご予約下さい)

おいしい豆と、ご進物の店



■本店 西区新道2-14-10 ☎(052)571-4057
■松坂屋店(松坂屋本館B1) ☎(052)264-3780
■タカシマヤ店(タカシマヤB1) ☎(052)568-1101

<http://www.mamefuku.co.jp/>



▲慶長15年(1610)、加藤清正は、徳川家康の命で名古屋城築城に参加。当時、築城名人として知られていた清正は、わずか3ヵ月で天守閣の石垣を積み上げたという

巻頭座談会 名古屋城天守閣の木造復元と、旧町名復活からみるまちづくり【前編】

では、名古屋城を世界遺産にしようという取り組みもされています。三重は熊野古道、岐阜は白川郷がすでに世界遺産とされていますが、愛知県にはひとつもない。名古屋城が世界遺産となったら嬉しいですね。

深田 そのためには東北隅櫓、多聞櫓、二の丸、三の丸などの整備も必要だと思います。もちろん木造での復元を目指しています。

これが揃えば江戸時代のままの状態になり、世界遺産への登録を申請できるようになります。

井沢 二の丸があったところはいま愛知県体育館がありますよね。いざれどんな建物でも老朽化して建て替えるときがくるわけですから、その時には代替地に体育館を移して、二の丸を復元する。いっぺんに用地買収してゼロから造ると大変なことになりますから、100年、200年かけて計画して

いけばいい。

伊藤 そのためにはまず私たち市民が名古屋の歴史を見つめ直すことが大切です。

名古屋は、慶長14年(1609)、徳川家康の「清須越」で誕生しました。

清須から名古屋へ町が移転する時には、当時水量の多かった庄内川を渡るのに大勢の犠牲者が出たそうです。

そうして出来た町であることを今の若い方は知らない。

歴史をもっとよく見直せば、先人たちが作り上げた名古屋の魅力を再発見できるはず。

そうすれば木造復元への気運もますます高まると思います。

市民一人ひとりが名古屋人としての歴史感覚を磨くことで、天守閣の木造復元、ひいては名古屋城を世界遺産登録へ導くのですね。

次号『後編』では、旧町名復活の取り組みと、市民参加の祭りにみる魅力的なまちづくりについて語ります。

中国・潮州海鮮料理「晁隆房」
(中区栄5丁目・パークプレイス1F)にて

アート倶楽部【カルチエ・ラタン】
QUARTIER LATIN
IKESHITA
絵画教室・アートギャラリー
アートカフェ&レストラン・ワインバー
名古屋市千種区池下町2-28
☎ 052・751・8033
http://www.quartier-latin.jp/

紅茶専門店・インド料理専門店
えいこ屋
名古屋市千種区山門町2-58
紅茶専門店/10時~19時 火曜定休 ☎763-8477
インド料理専門店/6時~21時半 火曜定休 ☎763-2788
えいこ屋バーラー 10時~18時 火曜定休
千種区山門町2-54-3 ☎751-2065

焼うな富士
昭和区白金1-1-4プレザント白金1F
☎052・881・0067 ㊟有
11:00—14:00 17:00—20:00 水・第1・3火休